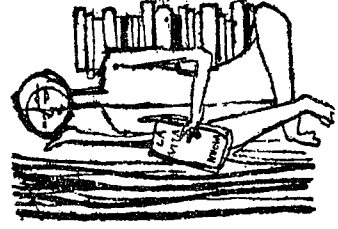


企画の下、ますます躍進を期し常に新しい会員のご加入を歓迎しております。どうぞ心やすくお申し込み下さい。

- 一、 どなたでも入会できます。
- 二、 会費年間金一、五〇〇円（郵送の場合送料金二〇〇円）計一、七〇〇円お払い込み下さい。
- 三、 住所、氏名、勤務先等を明確に書いて下さい。



前橋市城東町二丁目三の三
群馬県立図書館内

みやま文庫事務局

電話 前橋三一局 三〇〇八番
振替東京 一四二五九番



みやま文庫

会 報

No. 17

45. 6. 10

編 集 部 よ り

四十四年度も刊行が大へんおくれて、申しわけございませんでしたが、ここに第三回配本「中仙道」、および第四回配本「上州路旅日記集」、をお届けいたします。

◆ 昭和四十五年度刊行予定について

昭和四十五年度の刊行予定が次のように内定しましたので一応お知らせいたします。（順序未定）

◎ 諸街道（街道シリーズ、4）

会津・信州・姫・銅山・山中領等の諸街道について集録の予定

◎ 地学日曜散歩（木崎喜雄編）

県内各地の地学関係の名勝、天然記念物、その他の特性をアマチュアの興味をひくよう解説した手引書。

◎ 尾瀬（失われる自然の恢復）（堀正一編）

尾瀬を自然恢復、文化財保護の観点から科学的に解剖するもの。

◎ 群馬のスキーとテニス（スポーツシリーズ3）

清水善造、猪谷六合雄氏からの寄稿予定。

以上の通りですが、或は多少の変更があるかも知れませんのであらかじめ御了承下さい。

◆ 創立十周年記念みやま文庫賞懸賞原稿募集

みやま文庫の発足十周年を記念し、郷土群馬に関する未発表の著作（みやま文庫に向くもの）の原稿を募集いたします。

◎ 応募規程

- (ア) 応募資格 みやま文庫会員（応募の際新規入会可）
- (イ) 執筆内容 内容は高等学校卒業の学力にて理解できる程度のもの。当用漢字、新かなづかいを原則とする。執筆は個人でも、グループでもよい。
- (ウ) 締切り期日 昭和四十五年九月三十日
- (エ) 宛先 前橋市城東町二の三の三
群馬県立図書館内 みやま文庫事務局
又は 前橋市荒牧町
群馬大学附属図書館内
みやま文庫編集部
- (オ) 入賞 みやま文庫賞 一編 五万円
みやま文庫として刊行する。
佳作 若干編 各一万円
みやま文庫として刊行することもある。
(著作権はみやま文庫に帰属)
- (カ) 枚数 四〇〇字詰原稿用紙 三五〇枚以内

◆ 会員の継続について

これは毎年度の切りかわりに一応お伺いしていることですが、まず出来る限り全会員が今年も会員としてご継続下さるようお願いする次第でございます。

若し止むを得ない事情でご退会になりたい方は、今年度はご連絡ができましたので 七月末日迄に当事務局までお申し出下さい。若しご連絡がない場合は引きつづき会員としてご協力下さるものとして処理いたしますのでご了承下さい。

◆ 会費の早期完納について

これも毎年六月末に前納していただくようお願いしてまいりましたが、ご連絡ができましたため、今年度は七月末日迄に全員お払い込み下さいますようお願いいたします。この会費前納ということは当文庫として切実な問題ですので是非全会員の方々の深いご理解と温い協力をお願いする次第でございます。

ちなみに会費は今年度も次の通りでございます。

- ◎ 一般会員 一口 金一、五〇〇円（年額）
- ◎ 郵送会員 一口 金一、七〇〇円（郵送料共）

- (ク) 選考 みやま文庫編集委員会
選考代表者

相葉 伸（群馬大学教授文学博士）
萩原 進（前橋市立図書館長）
上和田哲三（群馬県立図書館長）

- (ケ) その他 入賞作品を刊行する場合は編集委員会にて加除訂正を求めることもある。

- (ク) 照会先 ◎ 前橋市城東町二丁目三之三
みやま文庫事務局
電話 前橋三二一三〇〇八
◎ 前橋市荒牧町 群馬大学附属図書館内
みやま文庫編集部
電話 前橋三二一六二二

事務局より

四十四年度分の第三回配本および第四回配本が大へんおくれ今年度に入ってしまった、皆様にご迷惑をおかけして申し訳なく存しておりますが何卒ご寛容の上今後共よろしくご支援の程お願い申し上げます。

次に事務上のご連絡を申し上げますが何卒よろしくご協力下さいますようお願い申し上げます。

◆ 会費納入の際の記名について

振替その他の方法で会費を納入されます場合、裏面に必ず、何々学校とか個人分とかはつきりお書き下さい。

◆ 住所又は勤務場所の変更連絡について

連絡。配本等に関係のある住所又は勤務場所が変わった場合、必ずしてなるべく早く事務局までこれらへお知らせ下さい。配本の間違いや遅延、未着紛失等をふせぐ上からも是非ご連絡をお忘れになりませんようお願い申し上げます。

◆ 文庫十周年記念出版「三山一水」について

さきに当文庫発足十周年記念事業としていわゆる「三山一水」を一組として複製再版いたしました。まだ残部がございますのでご入用の方は事務局まで御申し越し下さい。代金は一組二〇〇〇円で送料は二二〇円でございます。

◆ 当文庫は毎巻末に掲げました会長の刊行のことは、編集代表のことにあります。趣旨と理想に向って常に新しい